

授業関連動画の配信と その利用分析

川本一彦

教材動画の作成支援

- 授業紹介動画（授業選択）

担当教員が授業内容について10分程度で紹介。YouTubeで公開中。

- 授業動画（復習）

授業そのものを収録し配信。

- 授業サポート動画（復習・試験対策・発展学習）

演習課題の解説や進んだ内容の解説を配信。

体制

教員2名

職員2名

学生スタッフ（ALSA-TT）17名

授業動画と授業サポート動画のアクセス調査

科目	履修者数	種類	動画数	アクセス数
科目A	58	授業動画	24	137
科目B	49	授業動画	17	254
科目C	77	授業サポート動画 (進んだ内容)	8	89
		授業サポート動画 (演習解説)	8	621

* すべて共通専門基礎科目

サービスの集中・分配 (10%とか20%という数)

20:80の法則

20%の学生のアクセスが全体アクセス数の80%を占める

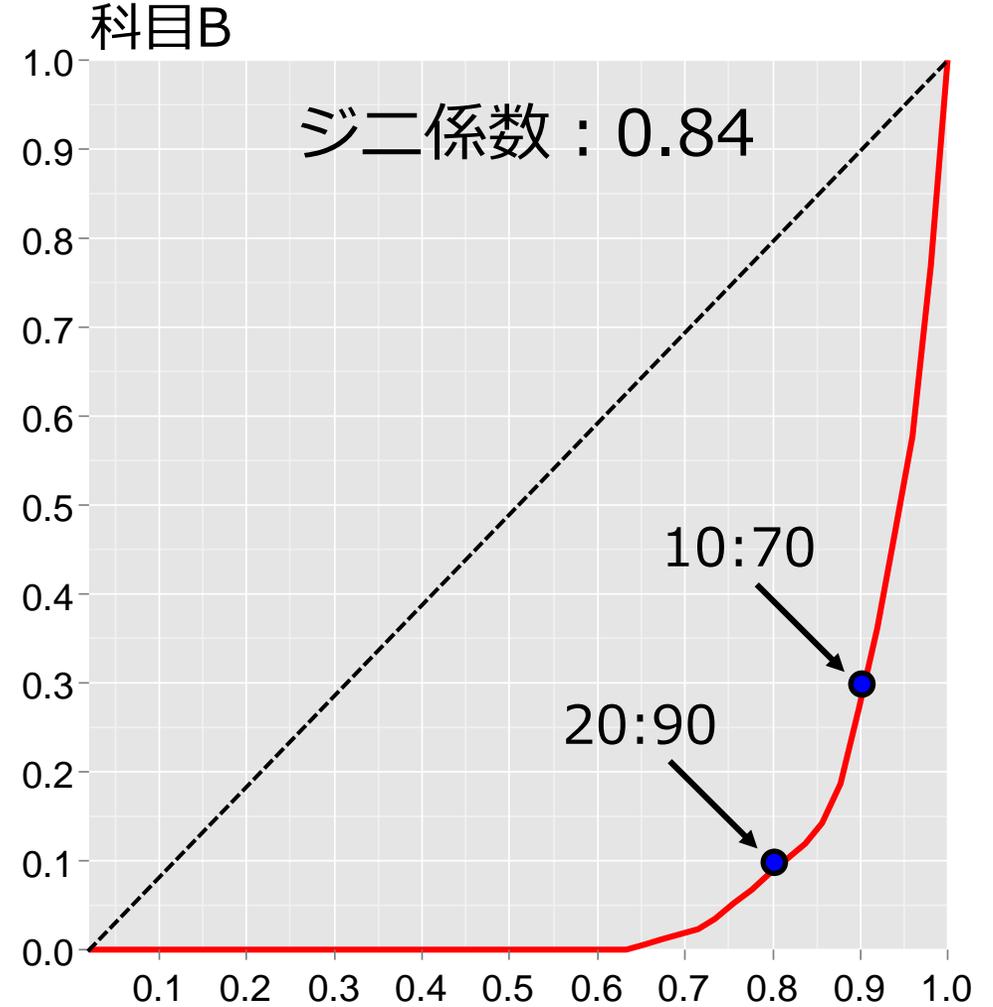
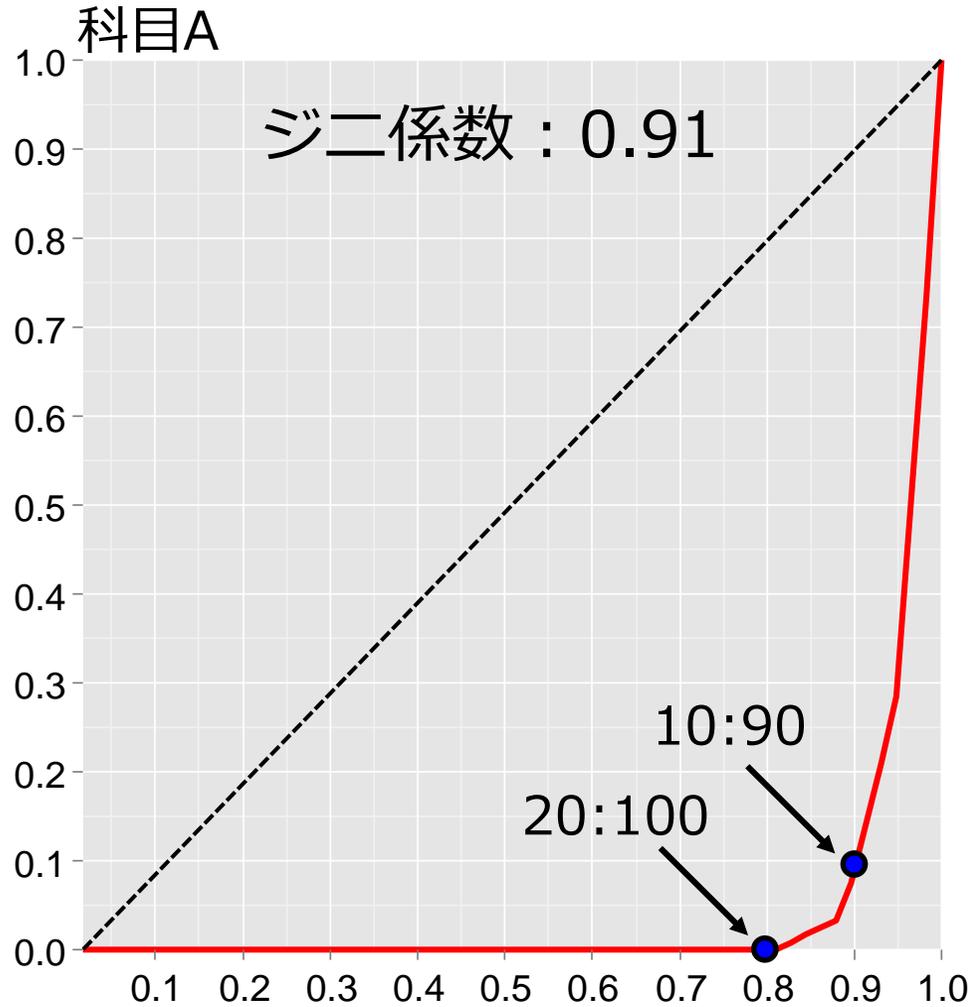
1:9:90の法則

ウェブでは1%のユーザが情報発信意欲が高く, 9%のユーザがコメントを書き込みし, 残りの90%のユーザは消費 (読む) だけである.

MOOCsの修了率5~10%

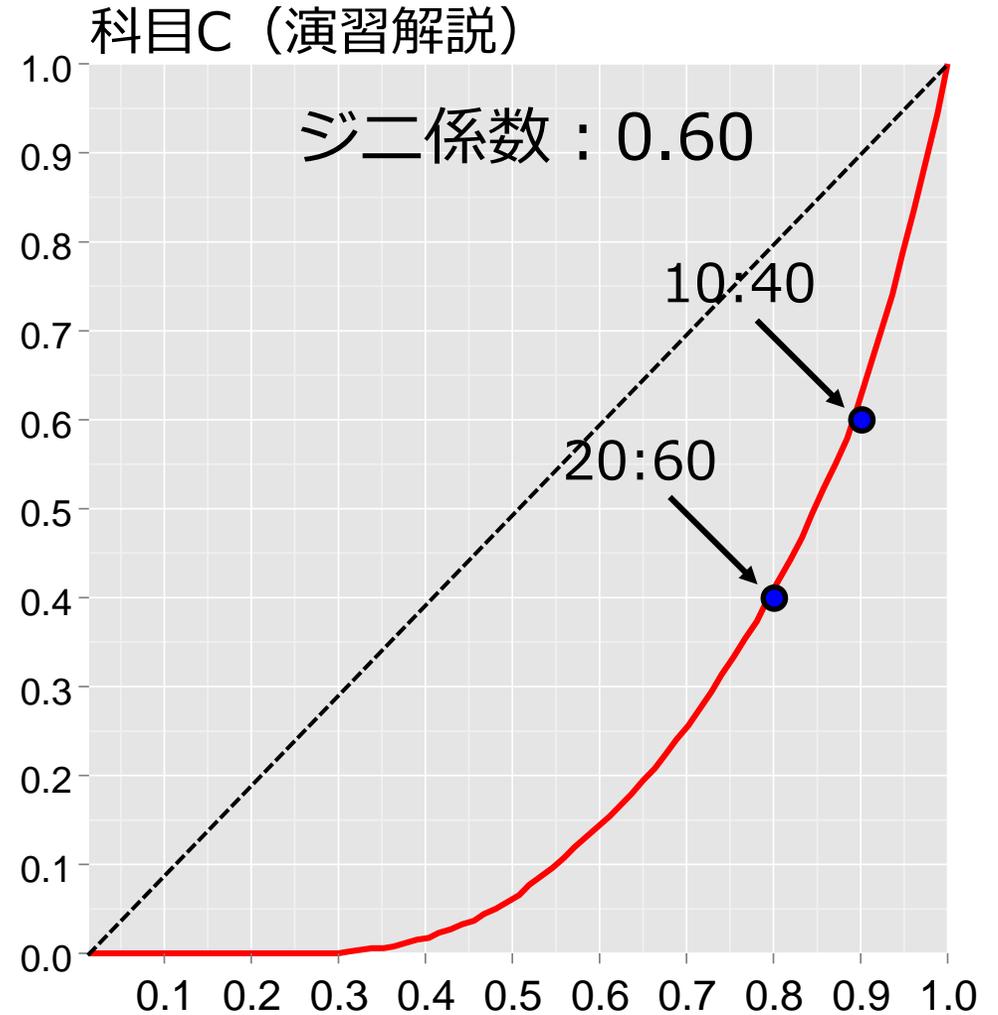
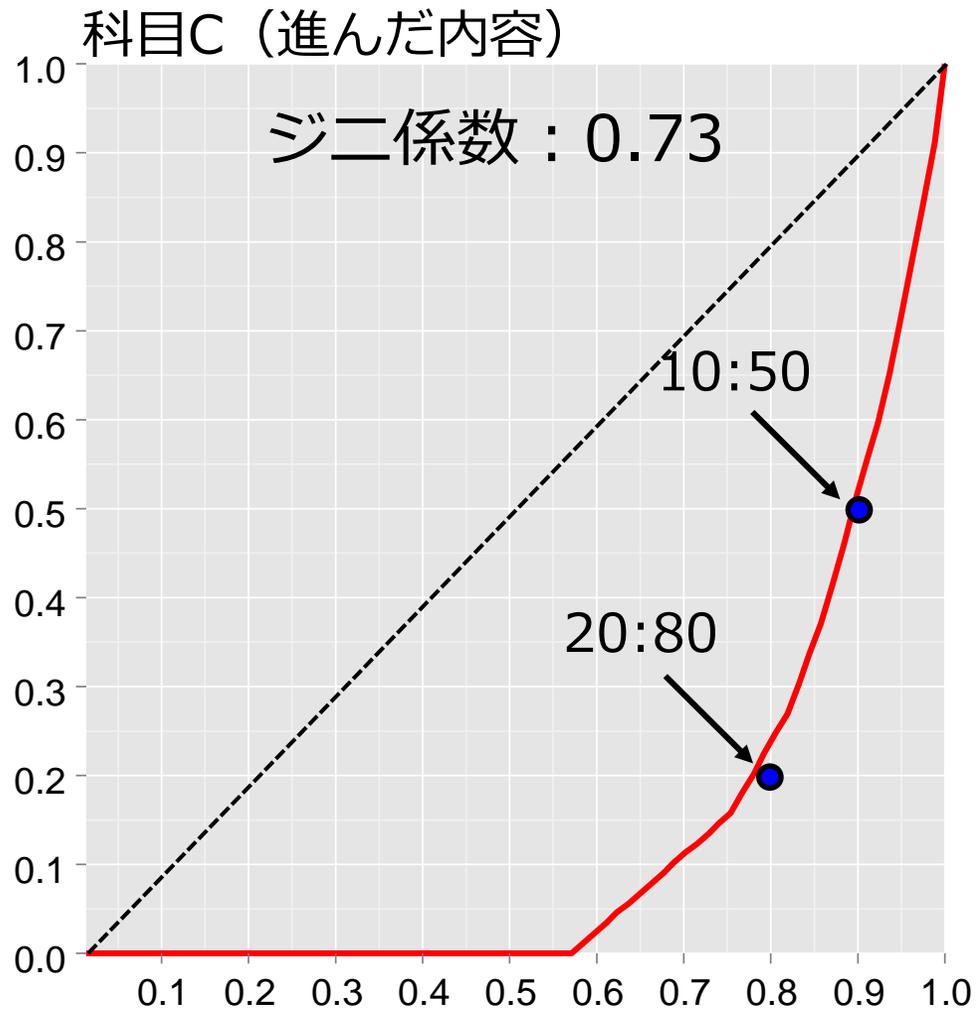
MOOCs (Massive Online Open Courses) の修了率は一般に5~10%程度と言われている. (「MOOC completion rates」などで検索すると, 修了率の統計が公開されているページを見つけることができる)

ローレンツ曲線とジニ係数で見る利用状況



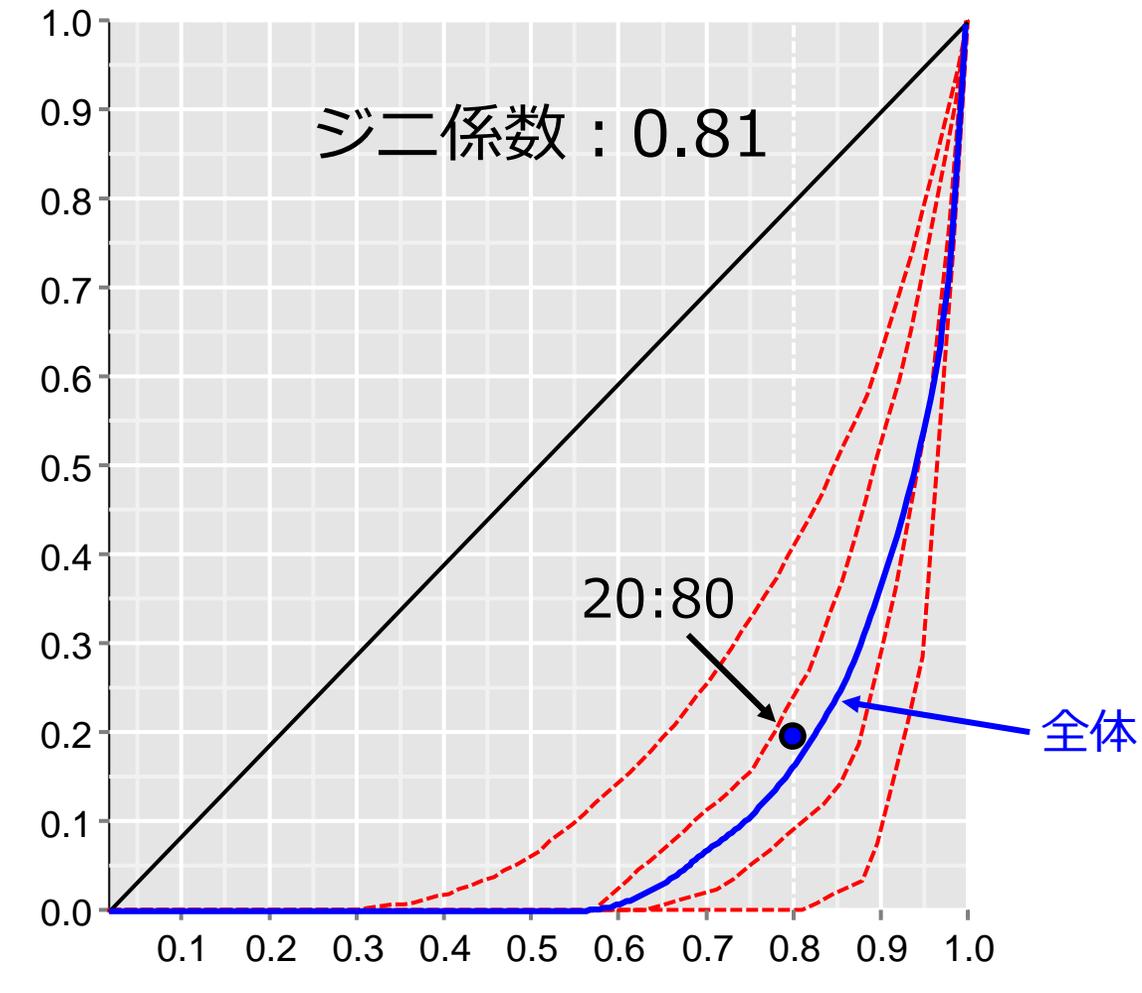
横軸 : 学生の割合 (アクセス数で昇順に並び替え)
縦軸 : アクセス総数に対する各学生のアクセス割合

ローレンツ曲線とジニ係数で見る利用状況



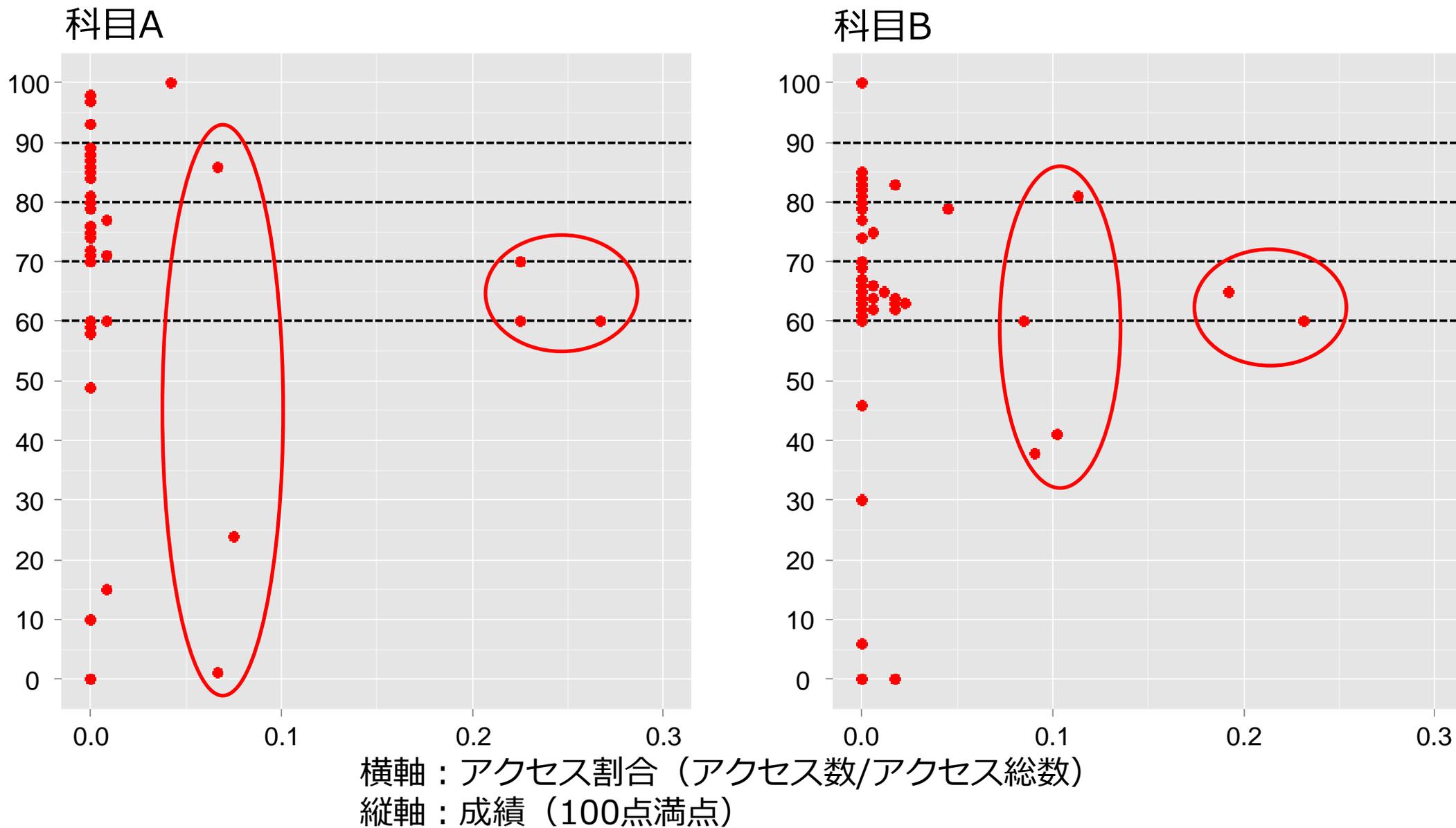
横軸 : 学生の割合 (アクセス数で昇順に並び替え)
縦軸 : アクセス総数に対する各学生のアクセス割合

全体を合わせて見ると



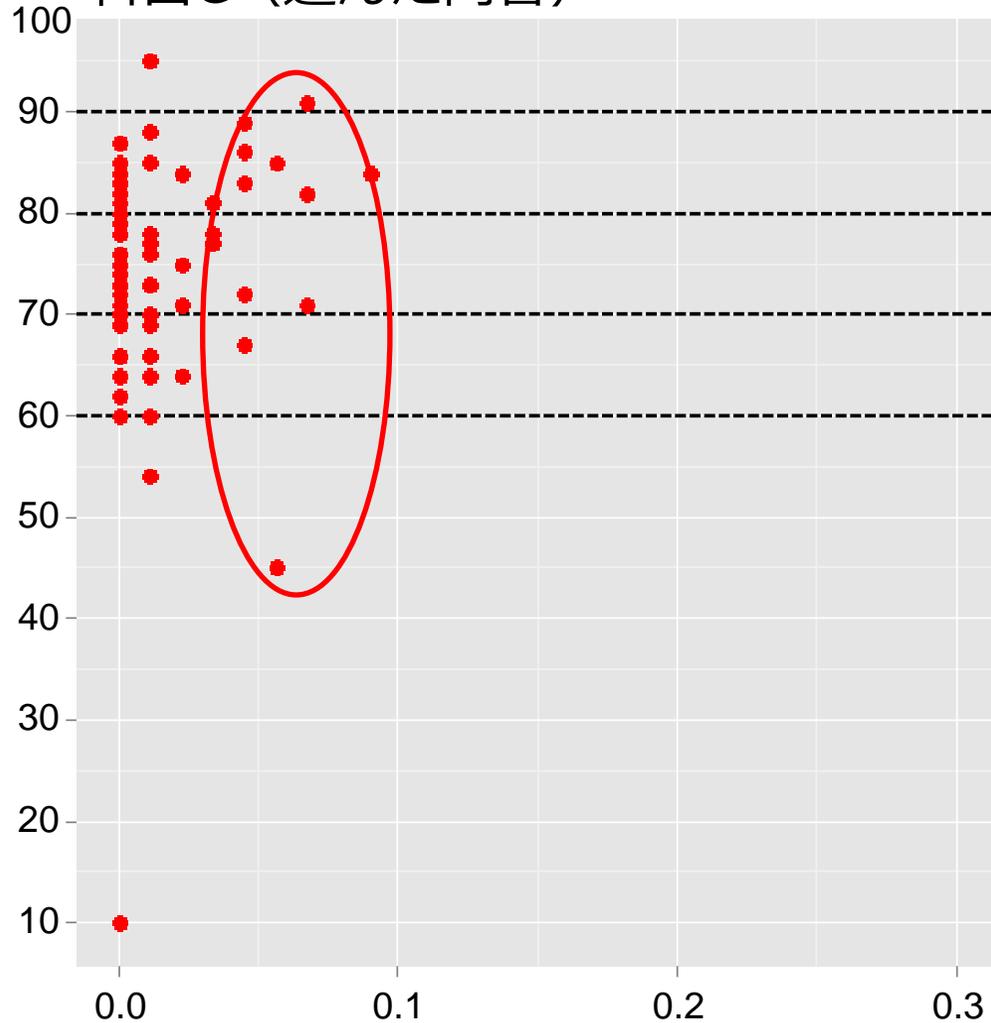
横軸：学生の割合（アクセス数で昇順に並び替え）
縦軸：アクセス総数に対する各学生のアクセス割合

成績とのアクセス数の関係

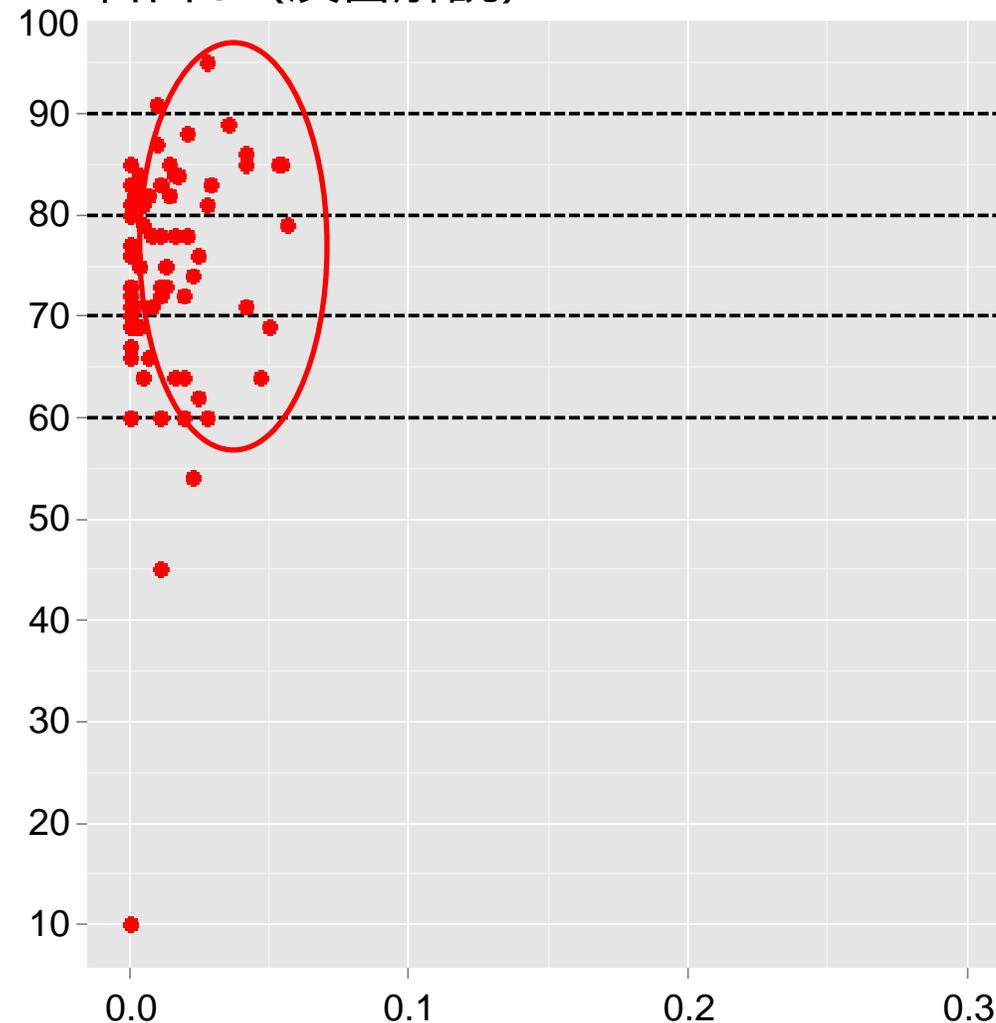


成績とアクセス数の関係

科目C (進んだ内容)



科目C (演習解説)



横軸：アクセス割合 (アクセス数/アクセス総数)

縦軸：成績 (100点満点)

まとめ

- 授業を中心とした動画配信
 - 授業紹介動画（授業選択の支援）
 - 授業動画（復習の支援）
 - 授業サポート動画（復習・試験対策の支援，発展的な学習への支援）
- サービスの集中と分配
 - 全体の10～20%の学生が利用．10～20%への集中という現象は，教育に限らずさまざまな分野で現れることを考えると，（我々の調査数は多くないけれども）普遍的な数値として考えてもよいのではないか．この数値を基準として，利用状況というものを考えるべきではないか．
 - 演習課題のような試験対策に直結する動画は集中が起きにくい（単位へのインセンティブ）．
- 成績とアクセスの関係
 - 授業動画は，低成績者の利用が多い（授業のフォロー）．
 - 進んだ内容の動画を視聴する層は，必ずしも高成績者に限られない．成績に関係なく見る学生は見る．

今後の展望

- 動画コンテンツに利用では10~20%の学生が大半を占めるという集中は起きてしまう。しかし、その10~20%は常に同じ学生を意味しない。
- いくつかのバリエーションを提供することが肝要。